

パソコン・エクセルで格子罫線を作って

村上ヨシヒコ

野外スケッチ或いは静物描写などの外に、取材した写真から描くことが多くあります。その際、写真をパソコンにとりいれて、パソコンを使いながら描き進めています。

パソコンの利用は二つに分けて、一つは、景色あるいはモチーフを画面にどのように収めるか、場合によっては絵の合成といった、絵の構成、他の一つは、描き進める際には、写真の部分を拡大したり、縮小して全体を観ながら、そして描き進め易くするための道具を用意します。その道具の一つが格子罫線です。5種類の格子罫線をエクセルで図1のように用意しています。画用紙の大きさ、モチーフの細かさによって使い分けてます。

今回は大根畑を描きました。細かくて形状が個々に異なるので鉛筆スケッチの際に、ふと描き進めている個所を失念することがあります。そして手間がかかるわりには「絵全体のバランスがとりにくいのが大変です。その助けとして、罫線を利用しました。画用紙とパソコン内の写真の両方に同じ数の罫線を設けました。

ここに載せた「大根」はサイズ F80 に描き始めたものの一部で、16 x 16 の格子罫線を使っています。これにより画面全体の中で、葉の大きさ、形状、個々の位置がつかみやすくなり、バランスが見やすくなって、画用紙へのスケッチに安心感がでて進め易くなります。

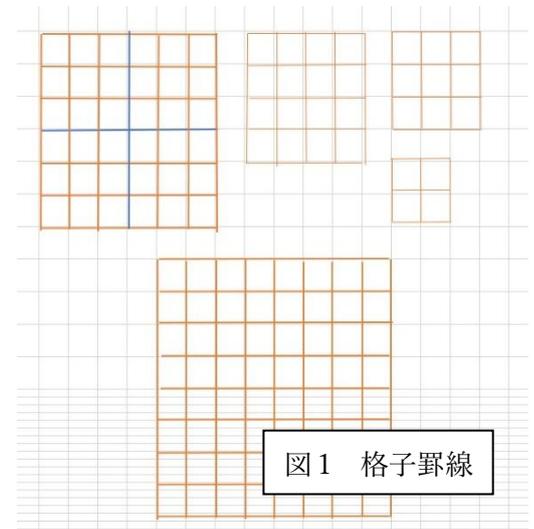


図1 格子罫線



図2 大根



図3 大根畑 - 罫線付